

研究課題名	疫学調査「唾液中のストレス関連蛋白と炎症関連蛋白との相互関係や心理的ストレスにおける影響についての研究」
研究期間	実施許可日 ～ 2029 年 3 月 31 日
研究の対象	本研究（E2019-1907（E-1907））について、既に文書にて同意済みの研究対象者の方
研究の目的・方法	研究目的：唾液中のストレス関連蛋白、炎症関連蛋白の相互関係やストレスに対する影響を解明することで新たな唾液中のバイオマーカーを同定し、将来的にストレスに関する研究の発展や歯科治療へ応用することを目的としています。 研究の方法：専用のチューブから唾液を採取させていただき、また診療情報やアンケートを用い解析します。詳細については文書にて同意取得時にお渡しした説明文書にてご確認ください。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：診療情報（年齢、性別、全身疾患治療歴（現在の全身疾患の治療歴、投薬歴を含む）、口腔内状態等） 試料：唾液
外部への試料・情報の提供	本学単独で実施する研究のため外部への試料・情報の提供は行いません
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2020 年 2 月 19 日）以降随時
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものかわからないようにします。個人と連結させるための対応表は、研究責任者監督のもと保管・管理します。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科公衆口腔保健学 教授 太田 耕司
その他	※本研究について、既に同意いただいた研究対象者の皆様へ同意いただいた後、計画が一部変更されました。研究内容の大きな変更ではございませんが、変更した内容について情報を公開します。 <u>【変更内容】研究期間・選定期間の延長</u> 今後も研究に変更が生じた場合現在ご覧いただいている HP にて変更した情報を公開しますのでご確認ください。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生

	じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学大学院 医系科学研究科 口腔健康科学講座 教授 氏名 太田 耕司 公衆口腔保健学教員室：０８２－２５７－５９４５
--	---